

令和5年2月16日

平成29年度司法試験 刑事訴訟法

設問1

第1 下線部①の適法性

- 1 問題となる行為
- 2 令状提示時期
 - (1) 令状提示の条文、趣旨
 - (2) 参考判例（最判 H14. 10. 4）規範
 - (3) 本問における必要性
同様。複数人。トイレに流す可能性。
- 3 ガラスの破壊
 - (1) 根拠条文
 - (2) 必要性
 - (3) 相当性

第2 下線部②の適法性

- 1 問題点
- 2 「物」と「場所」の関係
- 3 ボストンバッグの管理権

第3 下線部③の適法性

- 1 人の包摂について

2 参考裁判例（東京高判 H6. 5. 11）

3 自説の展開

設問 2

小問(1)

第 1 S の請求の趣旨

第 2 法律解釈

1 対立する考え方

2 参考判例（最判 H18. 11. 7）

第 3 各結論

1 証拠 1

2 証拠 2

3 証拠 4

小問(2)

第 1 前提

第 2 問題点

第 3 考え方の段階

1 増強証拠

2 回復証拠

3 さらなる検討

(1) 弾劾証拠の具体的な影響

(2) 本問の検討

以 上